



吉川三津子 議員

特権的な議員年金制度は廃止を

質問

2年後に議員年金制度が破綻すると言われており、総務省から存続案（A案・B案）及び廃止案が示されている。議員は毎月報酬から6万4千円払っており、市は負担金として議員1人あたり6万6千円支払っている。改正案の市の負担総額について問う。

総務部長

現在、議員29名で、市の負担は総額約2千297万円。存続A案では、来年度から議員が24名になるので、約2千589万円。存続B案では3千226万円となる。

質問

市の大きな負担が伴う。廃止になってもOB議員には、継続して年金が支払われ、継続して市財政を圧迫し続ける問題もある。私は廃止すべきと考えるが、市長は議員年金について、どんな考えを持っているか。

市長

共済年金にしろ、退職手当組合にしろ、同じような状況にある。議員は議員年金制度は必要ないとの意見だが、私は、議員の皆さんの勤めへの手当と思っている。

あ那时的答弁はどうなった

質問

今までの議会での答弁が、その後、どうなったか。改善状況についてたずねる。まず、子ども課を設置し、子どもに関する業務を一カ所で行うよう組織変更を提案した。その後、どうなったか。

福祉部長

教育委員会と市部局の事務の統合問題、保育園と幼稚園の関係などから、今回見直しの中にも含めることができなかった。現段階では、各部署で連携をとっている。

質問

愛西市では、他市と比較し、市民活動やNPOが低迷している。NPO育成について、市の方針は。

総務部長

県下で1千270団体あるが、愛西市は4団体。市民向けにNPO活動の周知や、活動紹介、講座などを行っている。

質問

佐織保育園では、耐震調査が実施されたが、建て替え問

題はどうなったか。

福祉部長

佐織保育園の園児は、横ばいで推移している。近くに建てたいが、場所をどこにするかで行き詰まっている。

質問

学童保育が定員オーバーとなっている。次年度からどのような対策をとっていくのか。

福祉部長

今年度、49名の登録があった。保育園児とは別に、年々利用者が増加する。いろんな方法を講じていかなければならない。

